

## MIDDLE1600\_4

1001: グェネスに<sup>かん</sup>関する<sup>かくじ</sup>レポートは、各自でまとめてくださいね。

1002: キューピーで<sup>きょがく</sup>巨額の<sup>そんしつ</sup>損失を出したため、<sup>だ</sup>詰問<sup>きつもん</sup>されました。

1003: 泰然<sup>たいぜん</sup>と揺る<sup>ゆ</sup>がぬ<sup>たいど</sup>態度は、立派な<sup>りっぱ</sup>教授<sup>きょうじゅ</sup>の<sup>そしつ</sup>素質です。

1004: 何故<sup>なぜ</sup>ならば、ポリュビオスの名前が覚えにくく、<sup>なまえ</sup>紛ら<sup>おぼ</sup>わしいです。<sup>まぎ</sup>

1005: わたくし、ぴゅーと吹く<sup>ふ</sup>風<sup>かぜ</sup>の音に、何故<sup>な</sup>か<sup>ぜ</sup>嫌悪感<sup>けんおかん</sup>がありますの。

1006: 優れた<sup>すぐ</sup>紺屋<sup>こうや</sup>は、艶<sup>あで</sup>やかな<sup>そ</sup>染め物<sup>もの</sup>を、<sup>う</sup>ジョセフに売りました。

1007: イエミエさんは、まず<sup>ゆび</sup>キーボードから<sup>はな</sup>指を離してみませんか？

1008: 先程<sup>さきほど</sup>のニュースで、スプーンが<sup>ま</sup>曲がるネタをやってみました。

1009: ギュゼルはナイフを<sup>にぎ</sup>握り、<sup>わたし</sup>私<sup>む</sup>に向けて<sup>ふ</sup>ヒュンヒュン<sup>まわ</sup>振り回しました。

1010: ペラゲーヤは、<sup>はくちゅうしゆき</sup>伯仲<sup>はく</sup>淑季での<sup>ちやうなん</sup>伯、つまり長男です。

1011: 弓道<sup>きゅうどう</sup>の心得<sup>こころえ</sup>が、<sup>ぞん</sup>ピエシツェにあったのか、存じませぬ。

1012: ピーチジュースのカップに、<sup>さ</sup>ストローを<sup>さぎょう</sup>刺す<sup>たの</sup>作業を頼みます。

1013: 前日<sup>ぜんじつ</sup>の野球<sup>やきゅう</sup>ですが、<sup>ひゃっきゅう</sup>百球で<sup>かんふう</sup>完封した<sup>あつぱ</sup>ピッチャーは、天晴れです。

1014: ポルタヴァから来ましたが、<sup>き</sup>鋌螺<sup>びょうら</sup>を作る<sup>つく</sup>職<sup>しよく</sup>に就くか、<sup>つ</sup>気持ち<sup>きも</sup>が揺らぎます。<sup>ゆ</sup>

1015: 涼子<sup>りようこ</sup>は<sup>す</sup>ピロコピウスが<sup>とつ</sup>好きで、<sup>やくそく</sup>嫁ぐ<sup>は</sup>約束を果たします。

1016: ギャンギャン泣く<sup>な</sup>子の<sup>こ</sup>傍<sup>そば</sup>に、<sup>おや</sup>オロオロした<sup>い</sup>親が居ます。

1017: ベビービョルンには、<sup>あか</sup>赤ん坊<sup>ぼうよう</sup>用の<sup>おもちゃ</sup>玩具が<sup>かず</sup>数多くあります。<sup>おお</sup>

1018: ちゃぶ台<sup>だいがえ</sup>返しに<sup>げきど</sup>激怒した<sup>ぬ</sup>フューガーが、<sup>しかた</sup>クラブを<sup>しかた</sup>抜けても仕方ない。

1019: ツィーゲルバウアーの<sup>するど</sup>鋭い<sup>ことば</sup>言葉が、<sup>しん</sup>心の<sup>ぞう</sup>臓<sup>えぐ</sup>を抉ります。

1020: 沖積地<sup>ちゅうせきち</sup>の何処<sup>いずこ</sup>から、<sup>いぬ</sup>犬の<sup>な</sup>クーンという<sup>ごえ</sup>鳴き声<sup>き</sup>が聞こえます。

- 1021: 僕は<sup>ぼく</sup>ティモシイを<sup>お</sup>推しましたが、一<sup>いっしゅう</sup>蹴<sup>お</sup>されましたか。
- 1022: ミツキエヴィッチが、<sup>いくさ</sup>戦<sup>はんたい</sup>に<sup>しょうこ</sup>反対した証<sup>しょうこ</sup>拠<sup>しょうこ</sup>はありますか？
- 1023: <sup>きゅうしよく</sup>給<sup>こんぶ</sup>食<sup>た</sup>の昆布を<sup>きょうどりょうり</sup>食べた<sup>おも</sup>デュキャナンが、<sup>だ</sup>郷土料理<sup>だ</sup>を思い出しました。
- 1024: クェツァランのジェラルドは、<sup>はばつ</sup>派閥<sup>しよぞく</sup>に<sup>しよぞく</sup>所属せずやってくそうです。
- 1025: <sup>ぞん</sup>ご存じでしょうが、<sup>ぼく</sup>僕はかつて、<sup>ごくそつ</sup>ガヴァッツアーナの獄卒<sup>ごくそつ</sup>でした。
- 1026: <sup>しゅと</sup>ありゃ、ボスニアヘルツェゴビナの首都<sup>しゅと</sup>は、サラエボでしたか。
- 1027: まあ、オバジェでは、<sup>ひげ</sup>髭<sup>は</sup>を生やしても<sup>めだ</sup>目立たないですけど。
- 1028: <sup>びやくや</sup>白<sup>はじ</sup>夜<sup>はじ</sup>は初めてですが、<sup>きみょう</sup>奇<sup>き</sup>妙<sup>も</sup>な<sup>き</sup>気持ちになりますね。
- 1029: <sup>ちず</sup>地図<sup>み</sup>を見る<sup>かぎ</sup>限り<sup>よこ</sup>グレヒェンの横<sup>わ</sup>ですが、ちょっと<sup>わ</sup>分かりにくいかも。
- 1030: <sup>のぼ</sup>エレベーターで<sup>のぼ</sup>昇ると、<sup>けしき</sup>テラスから<sup>ひろ</sup>ビューティフルな<sup>ひろ</sup>景色が<sup>ひろ</sup>広がります。
- 1031: チュバは、<sup>さんじゅ</sup>傘<sup>おく</sup>寿<sup>もの</sup>の<sup>やまぶきいろ</sup>贈り物<sup>はなたば</sup>に、<sup>えら</sup>山吹色<sup>えら</sup>の花束<sup>えら</sup>を選びました。
- 1032: <sup>ぎこう</sup>パヤクアルンの<sup>かみわざ</sup>技巧<sup>たお</sup>は<sup>ねくび</sup>神業<sup>な</sup>で、<sup>な</sup>倒した<sup>な</sup>きゃ<sup>な</sup>寝首<sup>な</sup>をかくしか<sup>な</sup>無<sup>な</sup>さげだわ。
- 1033: <sup>とつぜん</sup>突然<sup>とつぜん</sup>のプロポーズに、<sup>ひとみ</sup>トゥファイルの<sup>うる</sup>瞳<sup>うる</sup>が潤<sup>うる</sup>みました。
- 1034: <sup>かん</sup>ツォヌプに<sup>よげん</sup>関する<sup>まとはず</sup>予言<sup>まとはず</sup>は、<sup>まとはず</sup>的<sup>まとはず</sup>外<sup>まとはず</sup>れ<sup>まとはず</sup>だった<sup>まとはず</sup>みたいだね。
- 1035: <sup>やっかん</sup>ヒューリスティックに<sup>つく</sup>約款<sup>むちゃ</sup>を作るのは、<sup>むちゃ</sup>無茶<sup>むちゃ</sup>ですよ。
- 1036: <sup>しまい</sup>ドゥロールは、<sup>だれ</sup>ドゥニヤの<sup>つ</sup>姉妹<sup>と</sup>が<sup>と</sup>誰か<sup>と</sup>、<sup>と</sup>突き止<sup>と</sup>めて<sup>と</sup>ませんね。
- 1037: <sup>べつ</sup>別に、<sup>いしよくじょう</sup>ファミユイワさんの<sup>な</sup>委嘱<sup>へいき</sup>状<sup>へいき</sup>が無くても、<sup>へいき</sup>平気<sup>へいき</sup>でしたね。
- 1038: <sup>きみょう</sup>奇<sup>ばしょ</sup>妙<sup>た</sup>な<sup>ひやく</sup>場所に<sup>さき</sup>立つ<sup>そげき</sup>ゼドゥを、<sup>しと</sup>百<sup>しと</sup>メートル<sup>しと</sup>先<sup>しと</sup>から<sup>しと</sup>狙撃<sup>しと</sup>し、<sup>しと</sup>仕留<sup>しと</sup>めました。
- 1039: <sup>しよくにん</sup>ペーパーウェイト<sup>どうけい</sup>職人<sup>きも</sup>に、<sup>めば</sup>憧憬<sup>はじ</sup>の<sup>はじ</sup>気持ち<sup>はじ</sup>が<sup>はじ</sup>芽生<sup>はじ</sup>え<sup>はじ</sup>始め<sup>はじ</sup>ました。
- 1040: <sup>そくへき</sup>ファミレスの<sup>また</sup>側壁<sup>また</sup>を<sup>また</sup>跨<sup>また</sup>ぎ、<sup>だべ</sup>キャイキャイ<sup>ひび</sup>と<sup>ひび</sup>駄弁<sup>ひび</sup>りが<sup>ひび</sup>響<sup>ひび</sup>きますね。
- 1041: <sup>こば</sup>ミューズが、<sup>こば</sup>ミュゼの<sup>こば</sup>コスメ<sup>こば</sup>で、<sup>こば</sup>フューシャピンク<sup>こば</sup>だけは<sup>こば</sup>拒<sup>こば</sup>みました。

- 1042: ひょっとすると、チャーチルの目に留まった動きには、覚えがあります。
- 1043: ボディビルダーのジミヤトフが、このジムで鍛えるって本当ですか？
- 1044: ズデニェクは、京急バスで、巨猫を脚色した巨編を執筆します。
- 1045: イェンシッドは郡制に反対し、最後まで戦いました。
- 1046: この着古したスーツは、プピヨン駅で買ったものです。
- 1047: テョルスヴィクの付箋に、空虚をイメージした曲を書きました。
- 1048: ポツニャコフは、円周率を百桁覚えてます。
- 1049: ピヤシナがどこかセッポが聞くと、ピッピは目を背けました。
- 1050: 風邪だそうなので、ミヤリクグルは二限目に遅刻してきます。
- 1051: 去年退去した、グヴォジクの協力が、心中に去来します。
- 1052: ジェルヴェーズが憂えるネタは、キャラに合わぬ突拍子の無きことですよ。
- 1053: ヴェチェスラフも指摘したが、辞書の増訂も妥当だなあ。
- 1054: そんなヒョロヒョロになっちゃって、階段下りるのも辛そうじゃない。
- 1055: グウエンダは克己して、ピッコロのプラクティスを再開します。
- 1056: クォーターの弁護士が、ニョッキとビビンバを食べました。
- 1057: 女房が教会で紡ぐ言葉に、教授は虚を突かれました。
- 1058: 次はディープに漁業をやると言いましたが、あれは撤回します。
- 1059: フーデェは、靴が脱げても、立派にゴールまで駆け抜けました。
- 1060: 貴方の配属部署は、イタリアのヴィチェンツァにある、フォーツァです。
- 1061: 三百の管が繋がるこのデバイスに、どんな秘密があるのだろう。
- 1062: 生粋のメジュゴリエ育ちで、パラディンを見たことが無いのです。

- 1063: 侍<sup>さむらい</sup>が、スィルヴァーサーにヒョイヒョイ行き来してたとは、ありえませぬ。
- 1064: 尊<sup>たつと</sup>い職<sup>しよくぎよう</sup>業<sup>ぎ</sup>ですが、チェシュメでは給<sup>きゅうりよう</sup>料<sup>やす</sup>が安いそうです。
- 1065: 邪魔<sup>じゃま</sup>されず旗手<sup>きしゅ</sup>をやれそうな、フェルスタッペンはどうでしょう？
- 1066: キョンデョがパンマルだと知り、ギャロウェイは驚<sup>おどろ</sup>かされました。
- 1067: トウアモトゥ諸<sup>しよとう</sup>島<sup>くうき</sup>で、ギスギスした空気をリフレッシュしましょ。
- 1068: ヒメルビェアウエズへの旅行<sup>りょこう</sup>は、事故<sup>じこ</sup>で中止<sup>ちゅうし</sup>になりました。
- 1069: デャンフレス様<sup>さま</sup>、そろそろ目を覚<sup>め</sup>ましてくださいませ。
- 1070: 窮<sup>きゅうくつ</sup>屈<sup>くつ</sup>ですが、ヴコヴィッチの到<sup>とう</sup>着<sup>ちゃく</sup>までお待ちください。
- 1071: ギョニユルさん、パパッと掃除<sup>そうじ</sup>を済<sup>す</sup>ませて、玉<sup>ぎよくろ</sup>露<sup>の</sup>でも飲<sup>の</sup>みましょ。
- 1072: リュドミルのアリバイが明<sup>あき</sup>らかにされ、反<sup>はん</sup>逆<sup>ぎやく</sup>の罪<sup>つみ</sup>から免<sup>まぬか</sup>れました。
- 1073: ギエレクはダイエットのため、ジャンクフードを撲<sup>ぼく</sup>滅<sup>めつ</sup>したがつてます。
- 1074: ヴォイチェホフスキは、百<sup>ひゃっかん</sup>貫<sup>かん</sup>もの寿司<sup>すし</sup>をぺろりと平<sup>たい</sup>らげました。
- 1075: 休<sup>やす</sup>みを挟<sup>はさ</sup>むと、フィロメナも、動<sup>うご</sup>きが鈍<sup>にぶ</sup>りますね。
- 1076: 挫<sup>くじ</sup>けそうだったけど、シェベスチェーンと一<sup>いっしよ</sup>緒<sup>しょ</sup>に、僕<sup>ぼく</sup>も闘<sup>とう</sup>病<sup>びよう</sup>します。
- 1077: シャンゼリゼ通<sup>どお</sup>りを、シンプルな霊<sup>れいきゅうしゃ</sup>枢<sup>しゅ</sup>車<sup>つうか</sup>が通過<sup>つうか</sup>しました。
- 1078: ウィッシュリストのジャワティーが、見<sup>み</sup>知<sup>し</sup>らぬ誰<sup>だれ</sup>かから贈<sup>おく</sup>られました。
- 1079: イークィノックスで、食<sup>しょく</sup>パンを二斤<sup>にきんこうにゆう</sup>購<sup>こう</sup>入<sup>にゆう</sup>しました。
- 1080: デイグビーの初<sup>しよげき</sup>撃<sup>げき</sup>が外<sup>はず</sup>れた隙<sup>すき</sup>で、緊<sup>きん</sup>迫<sup>ぱく</sup>したムードに包<sup>つつ</sup>まれました。
- 1081: 除<sup>じよや</sup>夜の鐘<sup>かね</sup>が耳<sup>みみ</sup>障<sup>ざわ</sup>りだと、グイドッティがぷりぷり怒<sup>おこ</sup>ってます。
- 1082: ズィグムントは、所<sup>しよとくぜい</sup>得<sup>とく</sup>税<sup>ぜい</sup>を払<sup>はら</sup>い過<sup>す</sup>ぎており、還<sup>かんぶきん</sup>付<sup>ふ</sup>金<sup>きん</sup>が戻<sup>もど</sup>りました。
- 1083: ジャッジは潔<sup>けつぱく</sup>白<sup>しめ</sup>を示<sup>しめ</sup>したが、これを機<sup>き</sup>に悪<sup>あく</sup>癖<sup>へき</sup>を矯<sup>た</sup>めるべきですね。

- 1084: テュークスバリーは、御殿と呼ぶべき立派な家を所有してます。
- 1085: アンティークの机が届くのを、チョボトは待ち望んでます。
- 1086: ヴィルペルトは、埼玉でヴィッティヒと遊ぶつもりです。
- 1087: ツェザーリが奏でるトランペットの音は、プロと遜色ありません。
- 1088: グアルティエロ氏のやり方って、要するにただの兵糧攻めですよ。
- 1089: マテヤシェフスキーは、レビューレポートを見て、自虐気味に笑ってます。
- 1090: ウォヴィチで、パペット職人の、ペパーバーグを捕まえました。
- 1091: 雑煮を炬燵で食べると、冬の季節だと感じますね。
- 1092: リヤイチは、豚と肥料を使った武略を閃きました。
- 1093: ティベーリオと決別してから、長い歳月が経ちました。
- 1094: 京阪バスにプードルが紛れ込み、発車が遅れました。
- 1095: ヘンリーの絵は、ミュハンの絵と酷似しており、剽窃が疑われます。
- 1096: ピッチャーが肘を壊したのですから、ゲームはここまでにしましょう。
- 1097: 胸を反らして話すジャバーの言語は、ニンゴム語ですか？
- 1098: 讃岐うどんを、フィアットでファティマに配達しました。
- 1099: ルビーの鋼玉を目指し、シュヴァルツァハを旅する覚悟です。
- 1100: 紆余曲折あって、在日したと存じております。
- 1101: 頭の上を、風がビュービュー吹き抜けたと思ったが、気のせいかな？
- 1102: 竜巻が発生したので、ドゥーズィエムへの買い物はやめた。
- 1103: 足並みを乱すことに、チェルヴェンコフは過敏ですので、注意されたし。
- 1104: ニュヒューピングに、温泉は無いと聞くが、与太話だろ。

- 1105: 餃子<sup>ぎょうざ</sup>と飲む<sup>の</sup>エビスビールは、疲れ<sup>つか</sup>を癒<sup>いや</sup>すのに効果<sup>こうか</sup>的だ。
- 1106: マドゥロは頑固<sup>がんこ</sup>者で、これがジャスパーの模造品<sup>もぞうひん</sup>だと認め<sup>みと</sup>ない。
- 1107: ティシュキエヴィッチは、大阪<sup>おおさか</sup>の道頓堀<sup>どうとんぼり</sup>で、豚まん<sup>ぶた</sup>を食べ<sup>た</sup>た。
- 1108: 稀有<sup>けう</sup>な客<sup>きやく</sup>とのやり取り<sup>と</sup>は筒抜け<sup>つつぬ</sup>ですよ、ジャコメッティさん。
- 1109: 水飴<sup>みずあめ</sup>を作るため<sup>つく</sup>、ダミャンは、麦芽<sup>ばくが</sup>を百<sup>ひやく</sup>グラム譲<sup>ゆず</sup>ってもらった。
- 1110: エンツォが援護<sup>えんご</sup>し、月曜日<sup>げつようび</sup>にはポドヴェルカ<sup>とつば</sup>を突破<sup>とつば</sup>した。
- 1111: フェーン現象<sup>げんしょう</sup>で室温<sup>しつおん</sup>が上がり、リビング<sup>あ</sup>のデコポン<sup>ふはい</sup>が腐敗<sup>ふはい</sup>した。
- 1112: シグルビエルンソンの日課<sup>にっか</sup>は、ポークスペアリブ<sup>た</sup>を食べ<sup>た</sup>ることだ。
- 1113: ホームゲームでのヴェナブルズは、卓越<sup>たくえつ</sup>した力<sup>ちから</sup>を発揮<sup>はつき</sup>した。
- 1114: ミュルドウルも終電<sup>しゅうでん</sup>を逃<sup>のが</sup>してしまったのだから、泊<sup>と</sup>めてあげなさい。
- 1115: ギリヤルメと家族<sup>かぞく</sup>は、お節<sup>せち</sup>作<sup>づく</sup>りのウォーミングアップ<sup>を</sup>をしている。
- 1116: 突然<sup>とつぜん</sup>握手<sup>あくしゅ</sup>を求め<sup>もと</sup>られ、ベズーホッフ<sup>あわ</sup>は慌<sup>あわ</sup>てふためく。
- 1117: デュラック山脈<sup>さんみやく</sup>の麓<sup>ふもと</sup>に住<sup>す</sup>む人々<sup>ひとびと</sup>に、挨拶<sup>あいさつ</sup>しなきゃね。
- 1118: とつぷりと夜<sup>よ</sup>も更<sup>ふ</sup>けたので、ミュフィデ<sup>はくりよく</sup>の迫<sup>おんがく</sup>力<sup>たの</sup>ある音楽<sup>おんがく</sup>を楽しむ。
- 1119: 神道<sup>しんとう</sup>をキューバに布教<sup>ふきょう</sup>したいのだが、やっぱり難<sup>むずか</sup>しいだろうな。
- 1120: ジェズは、チャンプに勝<sup>か</sup>てば油田<sup>ゆでん</sup>を貰<sup>もら</sup>えるが、負<sup>ま</sup>けたら切腹<sup>せつぷく</sup>で死<sup>し</sup>ぬ。
- 1121: ヴィジェーヴァノで、虐殺<sup>ぎゃくさつ</sup>を企<sup>く</sup>てた男<sup>おとこ</sup>が、捕虜<sup>ほりょ</sup>になった。
- 1122: ウォンミョンが引き金<sup>ひ</sup>を引<sup>が</sup>ねば、ゴッツオリ<sup>ひ</sup>は祝福<sup>しゅくふく</sup>される。
- 1123: 猛烈<sup>もうれつ</sup>に広<sup>ひろ</sup>がる謎<sup>なぞ</sup>の奇病<sup>きびょう</sup>に、薬局<sup>やっきょく</sup>のエミリア<sup>ひへい</sup>は疲弊<sup>ひへい</sup>した。
- 1124: 逆境<sup>ぎやっきよう</sup>に見<sup>み</sup>えるが五分五分<sup>ごぶごぶ</sup>で、あの証拠<sup>しょうこ</sup>があればひっくり返<sup>かえ</sup>るぞ。
- 1125: ニェズゴダは、百<sup>ひやく</sup>ドル紙幣<sup>しへい</sup>で、梅<sup>うめ</sup>とシポラタ<sup>か</sup>を買<sup>か</sup>ってきた。

- 1126: ピネハスは<sup>きび</sup>厳しく<sup>はいりよ</sup>配慮にも<sup>か</sup>欠けるが、<sup>とうりょう</sup>棟梁のカリスマだ。
- 1127: キャンプではジャプカが<sup>はんちょう</sup>班長となり、チームを<sup>かんぺき</sup>完璧にまとめた。
- 1128: クエンティンの<sup>そこちから</sup>底力で、パーティの<sup>けっそく</sup>結<sup>つよ</sup>束が強められる。
- 1129: ねえねえシャフィークさん、<sup>さかな</sup>魚が<sup>すいりゅう</sup>ジェット水流を<sup>さかのぼ</sup>遡ってるよ。
- 1130: 巢から<sup>す</sup>ぴよこ<sup>かお</sup>ぴよこ<sup>だ</sup>顔を出す<sup>ひな</sup>雛を見て、ボグダン<sup>きげん</sup>は<sup>なお</sup>機嫌が直った。
- 1131: ボキャブラリーが<sup>ひんじゃく</sup>貧弱なズイーバーだが、<sup>いきお</sup>勢いよく<sup>しつびつ</sup>執筆する。
- 1132: あのデアナちゃんが<sup>どくりつ</sup>独立し、<sup>あた</sup>新<sup>ざっし</sup>しい雑誌を<sup>つく</sup>創るとはねえ。
- 1133: ゴネた<sup>あげく</sup>挙句に<sup>けいさつざた</sup>警察沙汰とは、<sup>がけ</sup>フィクレトも崖っぷちかのう。
- 1134: ピエトリヤコフは、<sup>かる</sup>軽い<sup>びねつ</sup>微熱だが<sup>げねつざい</sup>解熱剤を<sup>の</sup>飲むことにした。
- 1135: えーと、このケチャップは<sup>う</sup>ややしょっぱいが、売れるだろうね。
- 1136: グオルの<sup>かげき</sup>過激なポピュリズムには、<sup>ひょうか</sup>評価が<sup>ま</sup>真<sup>ぶた</sup>っ二つに<sup>わ</sup>分かれた。
- 1137: デシュクイーは、<sup>こつきょう</sup>国境の<sup>まも</sup>守りを<sup>かた</sup>固め、<sup>かげき</sup>過激なテロでも<sup>げきたい</sup>撃退できる。
- 1138: ポカポカの<sup>あたた</sup>温<sup>いぬ</sup>かさで、犬が<sup>しつぽ</sup>尻尾を<sup>まる</sup>丸め<sup>ね</sup>グウグウ寝てる。
- 1139: 母家が<sup>おもや</sup>焼けた<sup>や</sup>ゾルニツツァだが、<sup>はな</sup>離れは<sup>ぶじ</sup>無事だった。
- 1140: イヴギューニイは<sup>ずぬ</sup>頭抜けているが、<sup>やつ</sup>奴の<sup>だいたい</sup>代替には<sup>え</sup>なり得ないだろ。
- 1141: ヴェンツェルの<sup>ぼうぎょ</sup>防<sup>かた</sup>御は<sup>め</sup>固いが、<sup>ぬす</sup>ギャラリーの<sup>くず</sup>目を盗めば崩せますよ。
- 1142: やい、<sup>ざっこくまい</sup>ピュプランジュでは、<sup>かく</sup>雑穀米が<sup>き</sup>隠れたブームって聞いたぞ。
- 1143: そりゃーベツツェッカや<sup>へんぐう</sup>ウェグアンが<sup>み</sup>辺<sup>わ</sup>偶かは、見なきゃ<sup>わ</sup>分からぬよ。
- 1144: ポンポーニアは、<sup>じゃく</sup>弱<sup>れい</sup>冷房に<sup>ぼう</sup>慣れているので、この<sup>へや</sup>部屋は<sup>さむ</sup>寒すぎかな？
- 1145: 峰打ちが<sup>みねう</sup>浅い<sup>あさ</sup>おかげで、<sup>きぜつ</sup>トゥーシーは<sup>す</sup>気絶せず<sup>す</sup>済んだってことだ。
- 1146: <sup>かぜ</sup>風が<sup>ゆ</sup>揺れ、<sup>かお</sup>アロマディ<sup>とど</sup>フューザーの<sup>とど</sup>ほのかな<sup>とど</sup>香りが届く。

- 1147: ウォンヒョクが<sup>しゅっけ</sup>出家して<sup>ひさ</sup>久しいが、<sup>すこぶ</sup>頗る<sup>げんき</sup>元気だと聞いとるよ。
- 1148: ぷよぷよに<sup>ま</sup>負けて<sup>げきど</sup>激怒したヨヨの<sup>ひょうじょう</sup>表情が、<sup>あたま</sup>頭から<sup>はな</sup>離れない。
- 1149: <sup>ねつ</sup>熱が<sup>さ</sup>冷めないので、<sup>くすり</sup>ファーマシィで<sup>か</sup>薬を<sup>ほか</sup>買うが、<sup>か</sup>他に<sup>ほか</sup>買うものはある？
- 1150: <sup>おみごろも</sup>小忌衣を着たディオニュソスが、<sup>おも</sup>思ったよりもはま<sup>ま</sup>ってたな。
- 1151: <sup>じゅんかつゆ</sup>潤滑油を<sup>は</sup>派手に<sup>で</sup>ぶちまけたのは、ウォシャウスキーなの？
- 1152: クトウルフは、ツアトゥグアなど、<sup>かくう</sup>架空の<sup>しんわたいけい</sup>神話体系を<sup>じゅりつ</sup>樹立したんだぜ。
- 1153: ツィガーニによると、<sup>ぶぞく</sup>部族の<sup>ぐたいてき</sup>具体的な<sup>か</sup>狩りパターンは<sup>ふめい</sup>不明だぞ。
- 1154: タステョベにいる<sup>でんか</sup>殿下に、<sup>みつぎもの</sup>貢物を<sup>おく</sup>ピシピシ送るべし。
- 1155: カーテャは、<sup>ひぎしゃ</sup>被疑者に<sup>かか</sup>関わるので、<sup>ちゅういぶか</sup>注意<sup>み</sup>深く<sup>は</sup>見張ってくれ。
- 1156: ざっくり<sup>の</sup>述べると、<sup>ぐちよく</sup>愚直に<sup>どりよく</sup>努力を<sup>つづ</sup>続けたが、<sup>ほろ</sup>滅ぼされた。
- 1157: <sup>じゃ</sup>蛇の<sup>みち</sup>道は<sup>へび</sup>蛇であるなら、<sup>き</sup>ピペットのことも<sup>き</sup>プロに<sup>き</sup>訊くべきだ。
- 1158: <sup>ばぬし</sup>ビヤルヌって<sup>ほうもん</sup>馬主のところに<sup>いっしょ</sup>訪問するから、<sup>いっしょ</sup>一緒にきたまえ。
- 1159: <sup>かぜ</sup>風の<sup>つよ</sup>強い<sup>まち</sup>街へ<sup>い</sup>行き、<sup>がっき</sup>楽器を<sup>えんそう</sup>デューンと<sup>えんそう</sup>演奏した。
- 1160: <sup>よき</sup>予期せぬ<sup>きつぼう</sup>吉報に、<sup>おも</sup>ジョセファは<sup>ばんざい</sup>思わず<sup>ばんざい</sup>万歳した。
- 1161: なあ、<sup>さんみゃく</sup>ポーキュパイン<sup>けむり</sup>山脈から、<sup>た</sup>煙が<sup>のぼ</sup>立ち上ってるぞ。
- 1162: <sup>あす</sup>明日は<sup>あす</sup>ヴィコフォルテで<sup>つ</sup>釣るが、<sup>く</sup>ポルピュリオスは<sup>く</sup>来るかな。
- 1163: <sup>ちゅうやぎやくてん</sup>キャンテュは、<sup>きょうせい</sup>昼夜逆転の<sup>とく</sup>矯正に<sup>とく</sup>取り組み、<sup>にっちゅうねむけ</sup>日中眠気と<sup>たたか</sup>戦う。
- 1164: <sup>ぶきかんしょう</sup>ファニャーノは<sup>しゅみ</sup>武器鑑賞が<sup>しゅみ</sup>趣味で、<sup>とくべつこの</sup>ヴィサヤの<sup>とくべつこの</sup>ピヌティを<sup>とくべつこの</sup>特別好む。
- 1165: <sup>はな</sup>ポリュペーモスは<sup>ばしら</sup>鼻っ<sup>つよ</sup>柱が<sup>しりょう</sup>強かったか、<sup>のこ</sup>資料は<sup>のこ</sup>残ってない。
- 1166: <sup>く</sup>ゾネフェルトが<sup>く</sup>ヘルプに<sup>あわ</sup>来る、<sup>きぼう</sup>淡い<sup>す</sup>希望は<sup>す</sup>まだ<sup>す</sup>捨て<sup>す</sup>きれぬ。
- 1167: <sup>ほくい</sup>ペフリヴァンキョイの<sup>よんじゅういちど</sup>北緯は、<sup>おも</sup>四十一度<sup>おも</sup>だったと思うぞ。



- 1168: 床で座禅を組んでたら、にゃんこがすり寄ってきた。
- 1169: 陸尉のディーンは、映画の演出により、自分のことをデョーンと呼ぶ。
- 1170: 彼は大名の子孫で、料理を食べ過ぎメタボだそうだ。
- 1171: 漁獲量が減ったのは、技術ではなく漁業全体の悩みだぞ。
- 1172: ヴチュコヴィッチさん、証書では、壺という字を使うのじゃよ。
- 1173: 職場でクァジモドが倒れたと聞いたが、やっぱ疲弊してたんだな。
- 1174: ざっくばらんに言うと、明日は検尿があるってこった。
- 1175: グェリンはポジティブだが、邪魔され悔しい思いもしてる。
- 1176: パヴァロッティの秘術には、ローズクォーツが不可欠らしい。
- 1177: 母校を辱めるとウエゲナーは逃げたが、気にしすぎだろう。
- 1178: デュフロの渋い選曲に、ウォーザーは茶目っ気を覚える。
- 1179: ここを臨眺する場所とは認めぬと、ポリュカルポスは譲らなかった。
- 1180: ペパーミントとニョッキのマリアージュが、物議を醸している。
- 1181: 星座探しは楽しくて、今はベチュヴァーシュを探してるんだ。
- 1182: ミェジェライティスは、ポツパエアを舎弟にすべく、ユポ紙を持ってきた。
- 1183: 感極まったデュパルクは、栄誉とともにイエーイと叫ぶ。
- 1184: エンジェルを仏門に皈依させようとは、ヒューイも無茶を考える。
- 1185: 執事のブロディが、ヴァズとバシャバシャ水浴びして遊ぶ。
- 1186: ピヤストの脈が一瞬乱れ、手術は延期となった。
- 1187: これは、スペルクボグイの存続に係る、由々しき疑獄だろ？
- 1188: ああ、ウィニペグジェットツについては、欄外に記述してください。

- 1189: 弱<sup>じゃくしゃ</sup>者<sup>しや</sup> っぽいからと、パシュウイツを<sup>あなど</sup>侮<sup>あ</sup>ると、碌<sup>ろく</sup>な目<sup>め</sup>に合<sup>あ</sup>わないからな。
- 1190: ヴァヴリネックは分析結果<sup>ぶんせきけつ</sup>を見て、怖<sup>み</sup>気が止<sup>おどけ</sup>まらない。
- 1191: シェップエルは星座<sup>せいざ</sup>の場所<sup>ばしょ</sup>に基<sup>もと</sup>づき、進<sup>すす</sup>む方<sup>ほう</sup>角<sup>かく</sup>を決<sup>けつ</sup>意<sup>い</sup>したのさ。
- 1192: ペテンに掛<sup>か</sup>けて、ペイシェンスをゾーニョから連<sup>つ</sup>れ去<sup>さ</sup>った。
- 1193: 文<sup>ぶん</sup>章<sup>しょう</sup>を整<sup>ととの</sup>える作<sup>さぎょう</sup>業<sup>ぎょう</sup>は、ジュヌビエーブが担<sup>たん</sup>当<sup>とう</sup>する。
- 1194: ギュルヴィッチは、斜<sup>しゃ</sup>辺<sup>へん</sup>と角<sup>かく</sup>度<sup>ど</sup>から、造<sup>ぞう</sup>形<sup>けい</sup>の美<sup>うつく</sup>しさ<sup>ちかく</sup>を知<sup>ち</sup>覚<sup>かく</sup>できる。
- 1195: ペニユエルに<sup>そそのか</sup>唆<sup>し</sup>され、出<sup>しゅ</sup>奔<sup>つぽん</sup>を決<sup>き</sup>めたのはスホニユだよ。
- 1196: ゾッティの懸<sup>け</sup>念<sup>ねん</sup>は、フィレンツェでパツパルデッレにありつけるかである。
- 1197: 罪<sup>つみ</sup>を憎<sup>にく</sup>んで人<sup>ひと</sup>を憎<sup>にく</sup>まず、ヴァシリエヴィッチを憎<sup>にく</sup>んでも、仕<sup>しかた</sup>方<sup>た</sup>がないぜ。
- 1198: それは重<sup>ちよう</sup>畳<sup>じよう</sup>とヘインチェは<sup>つぶや</sup>呟<sup>つぶ</sup>き、ゼフィリヌスと共<sup>とも</sup>に去<sup>さ</sup>った。
- 1199: 売<sup>う</sup>ると決<sup>き</sup>めたのだから、クウクウ言<sup>い</sup>わずにチャッチャとや<sup>い</sup>っちまおう。
- 1200: ヴォルヴェーラのジェプセンは利<sup>り</sup>発<sup>はつ</sup>だが、ディベートすると稀<sup>まれ</sup>に誤<sup>ご</sup>謬<sup>びゅう</sup>がある。